



経歴

農業以外の職で全国を飛び回り、脱サラして2000年に夫婦で地元石川県に新規就農。
2 haの遊休農地を利用し有機栽培等を開始。
2002年有機JASを取得



栽培作物と面積

西洋野菜、伝統野菜等の中量多品目 20ha

露地栽培：かぶ、大根、サツマイモ、かぼちゃ等
施設栽培（ハウス10棟）：エディブルフラワー、ハーブ等



従業員

従業員（通年雇用）：2名
パート：6名





NOTO高農園 高 利 充



販売先に合わせた品目を栽培。相手が求める品目を徹底的に情報収集。

- 販売先は、レストラン、ホテル、百貨店、個人。販売先に合わせたマニア向けの野菜を栽培。
- レストランで同じ野菜の需要がずっとあるわけではないため、雑誌やSNS等様々なところから情報収集し、流行を外さないようにしている。
- シェフと対等に話せるように、フレンチの歴史や業界の事情を勉強した。
- 飲食店との契約に関しては、紹介が多い。

有機JAS認証は、販路拡大につながる？つながらない？

- 有機JASを2002年に取得。ヒトにやさしいものを作りたいと思ったのが、有機を始めたきっかけ。
- 有機であることが販売に必ずしも有利にはならないが、JASを取ってる方が相手に意見を聞いてもらえる。

これからの展望

- 今年うまくいっていたものが、来年うまくいくとは限らない。
- 将来を担う就農を目指す人へ、自分が経験したことを伝える。